

地域計画

策定年月日	令和6年3月29日
更新年月日	( 第 回 )
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	いわき市 204
地域名 (地域内農業集落名)	中三坂地区 ( 中三坂 )

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	145.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	125.0 ha
② 田の面積	90.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	39.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	42.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・アンケート調査の結果、経営の委託や所有権の移転を希望する面積が3割を占めることから、新たな農地の受け手の確保が必要である。  
 ・農業者の高齢化が進み、耕作条件の悪い農地や畦畔、水路・農道等の管理が過重な負担となっており、地区の共同作業が困難になってきている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・稲作を主要作物としつつ、野菜や果物、花なども少しずつ増やし、地元の直売場などで販売できる体制づくりを進める。  
 ・地域外から希望する認定農業者や、新規就農者を受け入れやすくするために、農道や水路の老化部分・田畑の維持管理を進めていく。  
 ・高齢化により個人作付が厳しいことから、希望者同志で組織的に耕作を試みる。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・農地中間管理機構を活用した担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、今後に向けた若手や入作の農地利用も推進する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	4.1%	%	将来の目標とする集積率
			27.6 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・担い手への農地集積と併せて、可能な範囲で集約化を進めるとともに、団地面積の拡大を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進めるにあたり農地中間管理機構を通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・担い手の意向を中心に、農地中間管理機構への貸し付けを検討する。
(3)基盤整備事業への取組
・基盤整備は過去に実施済みであるが、暗渠の取り換えは早期に実施する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地区内外から担い手を確保する為に関係機関と連携して進める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・作業の効率化及び作業受託など検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップの作成を進める。また現在、中山間直接支払金を利用し6名で罾の面免許を取り活動しており、今後も継続していく。
- ②環境に配慮した有機肥料や減農薬を進める。
- ⑦水路の維持管理や、圃場や農道の草刈りなど継続していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	A法人	牧草	7.2 ha	ha	牧草	7.2 ha	ha	A法人	
利用者	B氏	水田、野菜	5.6 ha	ha	水田、野菜	5.6 ha	ha	B氏	
認農	C氏	水田、野菜	4.3 ha	ha	水田、野菜	4.3 ha	ha	C氏	
利用者	D氏	水田、野菜	3.7 ha	ha	水田、野菜	3.7 ha	ha	D氏	
利用者	E氏	水田、野菜	2.7 ha	ha	水田、野菜	2.7 ha	ha	E氏	
利用者	F氏	水田、野菜	2.5 ha	ha	水田、野菜	2.5 ha	ha	F氏	
利用者	G氏	水田、野菜	2.3 ha	ha	水田、野菜	2.3 ha	ha	G氏	
利用者	H氏	水田、野菜	2.3 ha	ha	水田、野菜	2.3 ha	ha	H氏	
利用者	I氏	水田、野菜	2.1 ha	ha	水田、野菜	2.1 ha	ha	I氏	
利用者	J氏	水田、野菜	1.9 ha	ha	水田、野菜	1.9 ha	ha	J氏	
利用者	K氏	水田、野菜	1.4 ha	ha	水田、野菜	1.4 ha	ha	K氏	
利用者	L氏	水田、野菜	1.4 ha	ha	水田、野菜	1.4 ha	ha	L氏	
計	12経営体		37.4 ha	0 ha		37.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

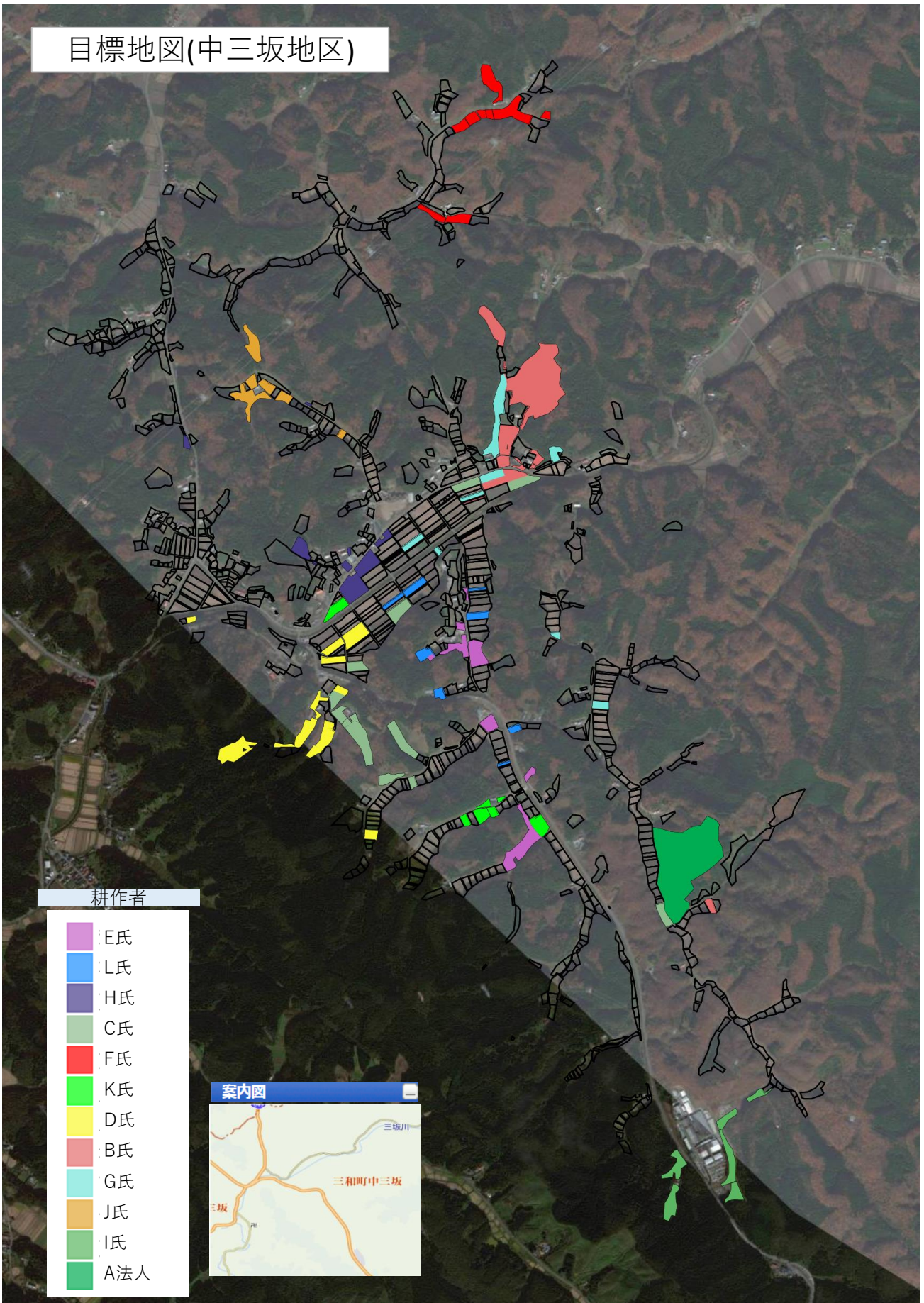
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
-	-	-	-

6 目標地図(別添のとおり)

# 目標地図(中三坂地区)



耕作者

- E氏
- L氏
- H氏
- C氏
- F氏
- K氏
- D氏
- B氏
- G氏
- J氏
- I氏
- A法人

案内図

